

明石市立大蔵中学校だより「2020年3月17日（第47号）」

書あり 師あり 友ありて



第七十三回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます

学校長 平田 高之

いよいよ今日という日がきてしまいましたね！名残はつきないのですが、私たちは、皆さんを次のさらなる素晴らしい未来へのステージに送り出す立場ですから、今日は涙でなく笑顔で送りたいと思います。できるかは自信ありませんが…皆さんに伝えたいことはたくさんあるのですが、卒業式の時間をできるだけ短縮しないといけないので、本番ではなく予行での式辞内容を紹介します。

今人気の若手俳優「菅田将暉さん」「松坂桃李さん」「新田真劍祐さん」「中村倫也さん」や、女優の「佐々木希さん」「木村佳乃さん」は皆さん知ってますよね。

先日その俳優さんたちが所属する事務所の社長さんが、NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で紹介されていました。その事務所には、将来を夢見て入所を希望する若者から、毎週百通にもなる履歴書やプロフィールが送られてくるそうです。そして、難関をくぐり抜けると最終の社長面接になるのですが、その際に採用不採用のポイントはどこかという記者のインタビューに対して、その社長さんは、「努力できるという才能。芝居がうまくて努力することができない人より、芝居がそんなにうまくなくても努力し続けることができる人。求められる、選ばれる人になるためには、何より欠かせないのは努力です。」と答えられていました。

皆さんの中には、周りの友達を見て、「あの子は運動神経がいいから」「あの子は才能があるから」「あの子は何もなくても勉強できるし」と思っている人がいるかもしれません。確かに、才能・運・環境は、人によってそれぞれで同じでないかもしれません。しかし、才能があったとしても、努力や感謝の気持ちがなくて成功するでしょうか。努力することは誰にでもできます。「努力する才能」は、意識すれば、今からでも身につけることはできる才能なのです。

「努力すれば結果は出る。結果が出ないのは努力が足りないから」世界的なホームラン打者王貞治さんの言葉です。これから皆さんを待ち受ける日本社会は、将来の変化を予測することが困難な時代を迎えると思います。そんな中だからこそ、皆さんには、「夢」や「希望」を持ち、努力し続けることができる人になってほしいと願っています。

昨日も少し触れましたが、今回のコロナウイルス感染症のことで、私は「当たり前のことが当たり前でできること」の難しさと幸せを改めて感じました。この臨時休業の間には、東日本大震災が発生した3月11日があり様々な番組で取り上げられていました。ロッテに入団した佐々木 朗希投手は、震災でお父様を亡くされているのですが、3月11日にあたりインタビューを受け、「悲しいことではあったんですけど、すごく今に生きているなど。当たり前が当たり前じゃないとか、今あるものがいままであるわけじゃないとか、そういうのを思い知らされました。」と答えられていました。だからこそ、

「ありがとう」「ごめんね」「好きだよ」という思いが伝えられていない人は、できれば今日中に言葉にして相手に伝えておいてほしいと願っています。

いずれにしても73回生の皆さん！本当にこの3年間がんばってくれてありがとうm(_ _)m

泉市長 卒業お祝いのメッセージ

時間の都合で、卒業証書授与式で紹介できない泉市長からのお祝いメッセージを紹介します。



大蔵中学校を卒業されるみなさんへ

ご卒業おめでとうございます。

いま、みなさんは卒業という人生の節目を迎え、それぞれの胸にこれまでの思い出とこれからの人生に向けての新たな誓いを抱いていることでしょう。

本日でみなさんは義務教育を終え、それぞれの進路へ向けて新たな一歩を踏み出すこととなりますが、中学校生活で学んだことを遺憾なく発揮され、夢と希望をもってこれからの人生を歩んでいっていただきたいと思います。

みなさんの門出をあらためて祝福しますとともに、その前途に幸あらんことをお祈りいたしまして私からのお祝いのメッセージといたします。



2020年3月17日

明石市長 泉 房 穂

